

小松市教育大綱

教育理念

Learn Well, Live Well

いつだって、誰だって、新しい可能性を

良い学び(教育)が、良い暮らし(人生)につながる。

誰でも学びたいときに学べる環境がある。

「学ぶ意欲に応えたい。」それがこまつの教育理念。

教育目標

あらゆる世代の成長が社会の持続的な発展に

教育は社会発展の根幹。

学校教育や生涯学習だけでなく、日々のちよつとした学びなど、全ての学びを社会の持続的な発展につなげていく。

教育方針

誰もが輝ける「学びのBest Balance」

一人ひとりに合わせて進める「個別最適な学び」と互いに学び合う「協働的な学び」との融合など、様々な要素をバランスよく組み合わせた教育で資質・能力を伸ばす。

学校経営理念

強い組織が強い学校と強い子供を創る

学校教育目標

Resilience を育て
共によりよい未来を創る子どもの育成

目指す児童像

自ら考え、判断し、行動する子

広い心で人を思いやり、認め合って協力する子

よりよいものを創り出すために挑戦する子

教育の目的

(学校教育法第30条②)

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うこと



◎重点経営目標

1 強い組織で進化・成長する学校に～チームによる学校づくり～

- ・日頃から学校経営方針の共通理解に努め、全教職員が同じ方向で職務を遂行することで、強さと一体感のある学校運営を実現する。
- ・校務分掌では、職員が自己の役割や目標達成の見通しを認識し、協働性と機動性をもつ機能となるよう主任をはじめ教職員間の連携を強化する。
- ・学校経営ビジョンに基づいたPDCAサイクルで計画的・継続的な検証を行い、組織として成長する学校を目指す。

2 すべての子供に学びがある学校に～伸びと成長を実感させる～

- ・「みらい探究科」を通して子どもが自ら考え動く主体的な学びを実現し、各教科・領域において「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を図り、授業の質を向上させる。
- ・「どんな力がどれだけついているのか」という視点で不断の検証を行い、各学習活動がより効果的なものになるよう工夫を図り、学力向上を実現する。
- ・日々の教育活動を通して学ぶことのおもしろさに気付かせ、粘り強く、自ら学びに向かう態度を育成していく。

3 思いやりの心が育つ学校に～心を動かす指導を基盤に～

- ・「生徒指導の4つの視点」を共通の指針とし、児童生徒の主体性や互いの信頼関係を育む手立てを全ての教育活動の中で積極的に講じていく。
- ・児童生徒の発達段階に合わせ、心の成長を実感する道徳教育を展開する。
- ・いじめは決して許されないものであることを徹底的に指導し、児童生徒の小さな変化や不安に目を向け、子どもの心に染み入る生徒指導や教育相談を展開する。

4 人々に愛される学校に～保護者・地域との信頼関係を～

- ・コミュニティスクールとして学校の方針や状況を積極的に発信し、学校の経営方針に対する理解を得て、地域との協働体制を確立する。
- ・来客や電話への対応をさわやかに、かつ丁寧に行い、だれからも愛される陽気であたたかい学校風土を醸成する。